



スピリチュアルリーダー ファルコとダマヌール

2013年6月23日の満月の夜、夏至の儀式とオラクルの儀式を見届けた後、スピリチュアルリーダー・ファルコは、62歳の生涯を終えました。ダマヌール内外の多くの人たちが彼の死を悼みました。

腫瘍が発見された時、彼は余命がどれくらいかを主治医に尋ね、最期まで意識を明確に保つために、麻薬などの強い痛み止めは使わないことを依頼しました。そしてダマヌールが持つあらゆる独自の治療に加え、新たな痛みの緩和治療について自らをモデルに研究を推進することを許可しました。強い痛みに苦しむファルコに主治医は尋ねました。「あなたは数々の奇跡を起こしてきたのだから、自分のために何かできないの？」するとファルコは、「私が何かをするのは人々のためであって自分のためではない。私のために奇跡を起こす何かができるのは、あなた達のみです。」と明確に答えました。強い痛みで身体を動かすことも声を出すことも苦しい中、週に3回ある「ファルコとの夕べ」と呼ばれる市民やゲストのための勉強会には、死の2日前まで病床からスカイプで講義を行い、メッセージを伝え続けました。ダマヌール市民それぞれへのメッセージ、ダマヌールの今後への指示…その終焉は、ほとんど完璧に準備されたものでした。

ファルコは死の間際まで、私たちに何を伝えたかったのでしょうか？

光の都市・ダマヌールの創立者であるファルコ（オベルト・アイラウディ）は、物質世界の中でダマヌールを実現するために、スピリチュアルリーダーとして熱心な研究と市民へのアドバイスを続けていました。

ファルコは幼い頃から並外れたパラノーマルな才能や、ヒーリングの能力を発揮しました。イタリアで出版されたファルコの少年時代を記した自伝「*Racconti di un Alchimista*（錬金術師の物語）」には、スピール（らせん）と呼ばれる地球外のエネルギー体との出会いに始まる、少年の心躍る冒険物語33話が詰まっています。

ファルコは、まさに錬金術師として多くの実験を経て、時間や空間を超越した知識を、この時代のこのポイントに実用化して出現させてくれました。その知識



は、理解が幾重にも重なる層になっており、個々の気づきの度合いによって新たな見方が生まれてきます。

大きな夢を見ることで実現した持続可能な社会

ファルコとその仲間であるグループの研究者たちが、精神的、人間的、社会的な体験から見出した「人間は外在する神様に依存することなく、自分自身が運命の主導者になることができる」という考えに基づく社会を実現したのが、コミュニティーの連合体・ダマヌールです。

ファルコは、人が本質として持つ内なる神に気づいて運命の主導者になるためには、共通の精神的な夢や目標を持つコミュニティーの中での仲間との関わり合いが不可欠であると説いてきました。グループにおける人との相互作用によってのみ、内なる神を目覚めさせることが可能となるのです。閉鎖的な環境で行う個人的な修行や苦行が人の成長をもたらすのではなく、仲間と共に同じ目標の実現に向けて、常に学び、実践し、実験し、個人の才能を十分に表現する。その中で、独断的で自己中心的な態度を排除することにより、一人ひとりが内在する神聖さに気づくように導かれるのです。それは、物質のみにとらわれることのない、精神性を重視した、新しく常に変化し続ける実験的な人間社会の創造です。

一朝一夕には成し遂げられないこうした社会・ダマヌールは、どのように実現してきたのでしょうか。ファ

死を超えて生きる

ファルコが肉体を離れて旅立つのと同時期に、ダマヌール日本のメンバーもダマヌールを訪れていて、「ファルコとの夕べ」のスカイプ講義に参加していました。体こそやつれていましたが、ユーモアをもって登場したファルコは、最期に私たちに向けたメッセージの中で、「地球上の人類は一つの民族であり、魂の存在はひとつしかない。あなた達はマインドの制限があるために繋がりを感じられないているが、個人では困難とすることも、夢を持ち、お互いに愛情を育み、正直な分かち合いと支え合いと団結によって、あらゆることは乗り越えることができる」と繰り返していました。それこそは、現在ダマヌール市民が、人類の精神的な成長のための、大きなジャンプに向けて取り組んでいる“スーパー個人”の実現にはかならないのです。

肉体は滅んでも魂は永遠であることを、私たちは彼の存在を通して感じます。ファルコは身をもって、死を迎えるプロセスと、病気で死に至る過程であっても敗北ではなく、最期まで生きること立ち向かう生きざまを見せてくれました。いかなる困難な状況にも諦めることなく、常に可能性を見出す楽観的なビジョンを持ち、肯定的な考えを行動で示していました。より困難な道を選択しても、数パーセントの実現の可能性にかけて、ゲームのように乗り越えることを自ら示してくれました。

スピリチュアルリーダー・ファルコの亡き後も、ダマヌールは進化を続けます。私たちが自分自身の運命の主導者となるまで、残された課題はたくさんあります。ファルコはその課題を解決していくための方法を私たちに伝え、準備してから逝ったのです。大きな夢は、決して失われてはいません。夢を見る仲間も消えてはいないのです。

ダマヌール日本のメンバーは、ファルコが伝えたたくさんの知識が、実際にこの宇宙の中で生きて働くものであることを、日々実感しています。そして、日本の中に新たなプロジェクトが生まれようとしています。日常生活に埋もれて麻痺してしまった心と体の違和感に気づき、多くの人が本来の自分を取り戻すための、プラノセラピーを中心とする予防医学の健康施設。日本の伝統的技法を取り入れた芸術活動。コミュニティーの創造。植物の世界との協働を推進するための樹々の活性化も継続して行っています。

新しい年を迎え、あなた自身、あなたの周囲のひとと、そして人をとりまく環境を、精神的な成長の視点から見直してみませんか。そして、あなたの中にも内在しているマスターが目覚めるよう、私たちと一緒に行動を起こしてみませんか。

新春第一弾 名古屋セミナー

ダウジング～感知する能力

人生の可能性を広げるペンデュラムを学んでみませんか。

日時 2014年3月1日(土)2日(日)10時～18時

会場 ウィンクあいち (名古屋駅徒歩5分)

ルコは常に「大きな夢を見る」ようメンバーに語りかけていました。物質の宇宙において何かを実現しようとする時、まずは、より大きな夢を見る必要があります。そして大きな夢に向かって、努力と探求を続けること。それも同じ夢を見ることのできる仲間と一緒に進むことです。個人主義へと向かい、共感を失いがちな現代人には、取り戻す必要のある感覚です。夢や目標の共有、そこから生まれる協働や互助の精神が、お互いを知って大きな目標の実現をするための鍵となります。

こうして実現した夢の一つには、人類の神聖さや進化に捧げ、現在も建設が続けられる「人類の神殿」の創造があります。ダマヌール芸術の集大成であり、手を動かして行う瞑想が生み出した、進化の成果ともいえます。神殿の芸術の中には、ファルコが描いた古代からのマジックの生きた知識のサインを見ることができます。

ファルコがもたらした知識には、この物質宇宙の創造理論や数々の法則を示す「秘教的物理学」やセルフ人類の進化のために協同し金属や絵画に宿る、次元を超える叡智を持つ存在の研究—セルフ学などがあります。その人智の及ばない広さや深さには、驚くばかりです。

人間の偉大な可能性を確信する ファルコとは誰なのか

ファルコは、破壊された環境により人類の存続が危ぶまれる“究極の現在”という時のポイントから計画的な輪廻転生を使ってやってきたタイムトラベラーです。今のこの時代は、接続しうる未来の可能性を開くために出来事を修正できるポイントなのです。そんな重要な時期に、私たちは生きています。今ここで、私たちがよりよく生きなければ、地球と人類という種の未来がないのです。

ファルコは、哲学者、ヒーラー、著述家、画家としての彼の研究成果を、より多くの人びとに提供するために、1975年、仲間とともにトリノに「ホロスセンター」を開設しました。これがダマヌールの始まりです。現在日本大使であるフェニーチェ・フェルチェも、ファルコとともに創立者の一人であり、ダマヌール創立の生き証人として、ファルコとの体験を、熱く、生き生きと語ってくれます。

この物質世界で、人類の種の進化のためにマジックな知識を研究し、提唱して実現させたファルコの功績が宇宙にもたらす影響は多大です。

時間の研究によってタイムトラベルを実現しました。地球を取り巻いて宇宙につながるエネルギーの河・シンクロニックラインに関する古代からの知識をもたらし、アクセスポイントのコントロールを取り戻しました。そして、シンクロニックラインにアクセスするポイントから人類に役立つポジティブな情報を流すことができるようにしたのです。また、宗教や信仰の枠を超えたすべての神々が存在する精神的エコシステムの本来の秩序を取り戻し、人類の進化に向けた神々との協同関係を実現しました。

現代科学の先を行く 秘教的物理学への招待

☆人間が本来レアからきているのであれば、今回学んだことは全て刻みこまれているはずなので、たわいもない思考で理解しようとするのは諦めて掘り起す、思い出すことに専念しようと、現実逃避したくなるほど、深い内容でした。☆ダマヌールのコミュニティ、地域通貨には特に関心があります。素晴らしい講義で魂が喜びでふるえている感じがします。学んだことを今後の人生につなげるためにも、今後もぜひ深く関わらせていただきたいです。

以上の言葉は、昨年からはまった「秘教的物理学の学校」第1回を受講された方々からいただきました。

この知識の基盤となる部分は宇宙の原理の解明で、古代から引き継いだ秘教的知識を基にしています。現代科学が主に探求している物質世界の探求を越え、現代科学においてははまだ不足している精神的領域の探求まで包括します。この物質の宇宙、あるいは人間は、何からできているのでしょうか？ 何のために存在するのでしょうか？ 連続講義がその答えを導き出すのを手助けします。

ダマヌールは、地球上だけでも7万5千年続く秘教的知識の道を引き継いでいます。その中では、一般には知られていない壮大な人類の歴史も語られています。私たちが、単にテクノロジーだけを発展させるのではない、真の意味での人間としての進化を果たすためには、人類の歴史を認識することも必要です。

かつて、黄金の時代と呼ばれる、人間が神と肩を並べていた時代がありました。地球が宇宙の中心となり、宇宙に広く進出していた時代がありました。それにも関わらず、現在の地球上の人間は、かつて持っていた知識も技能も感覚もほとんど失ったかのように、物質偏重の狭い世界の中で生きています。それはまるで、目隠しをされ、檻に閉じ込められているかのようです。

ダマヌールでは、受け継いだ知識を基に様々な研究実証を重ねてきています。そして時間旅行だけでなく、宇宙への移動、地球外生命体との交流も実現しています。実はダマヌールに建設された人類の神殿は、単なる神殿としての機能だけでなく、それらのことをも実現するために、そしてさらに発展させるために必要不可欠な場として、意図的に設計建設がなされています。

この人類の神殿を中心に研究・検証・発展してきた、ダマヌールの知識の基礎である秘教的物理学の初の5回シリーズが、ついに開始されました。初回の講義では、主に、この物質の宇宙を構成する8つの基本的な法則について解説しました。

2回目以降では、私たちの物質の宇宙に必須な時間の世界について、そして私たち人類の歴史、地球外生命体との交流などについてお話しします。それらの知識の獲得は、私たち人類が目指すべきものは何であるか？と考えるきっかけになるかもしれません。「私たち一人ひとりの中に宇宙のすべての答えが詰まった秘密の部屋がある」という言葉がありますが、これは真実です。その部屋をノックし、目覚めさせるための数々のきっかけを、ダマヌールは提供することができます。

すでにスタートした連続講義ですが、2回目以降からの受講や、各回の受講も可能です。

自分の変化が楽しみ…(受講の感想)

私は今、7才、3才、1才の3人の子供の育児に追われる一主婦で、このセミナーを受講するのは金銭的にも、時間的にも、とても高いハードルでした。が、「皆の幸せのために受けたい！」と本気で願った時に、思いがけないシンクロニックな出来事が重なって受講することができました。

せっかくの機会なので、赤ん坊が大学の授業に出ているつもりでわからないことは色々質問させてもらいました。フェニーチェさんは赤ん坊にわかるように答えて下さったし、そして何より、イタリア語の講義だということをお忘れさせるジュゴンさんの弾丸のような関西弁（三重弁？）の同時通訳は、京都出身の私のテンションをととても高めてくれました。

「やっと本当のことの骨組みが見えてきたぞー」と魂が喜びで踊っている感じです。世界を認識する自分というフィルターがこの先どう変わり、自分が世界とどう向き合うようになっていくのか、とても楽しみです。(40代 女性)

今後の内容と開催予定

- 第2回 時間の世界とその構造
2014年 3月15日(土) 16日(日)
 - 第3回 タイムトラベルータイムトラベラーの物語
5月24日(土) 25日(日)
 - 第4回 古代文明とアトランティス以前の歴史
7月19日(土) 20日(日)
 - 第5回 アトランティス以前の歴史とエイリアン文明
※エイリアン文明とは地球外知的生命体がもたらした文明のこと
9月13日(土) 14日(日)
- 会 場 京都市左京区 関西セミナーハウス (修学院 さらら山荘)
- 時 間 10時～18時

心も体も健やかに 魂のミッションにコンタクトするプラノセラピー

「夢を実現させたい」「人生の岐路にあたり、良いシンクロニティーを引き寄せたい」「自分を変えたい」「健康になりたい」…プラノセラピーは進化や成長をサポートするヒーリングです。そのポジティブな作用は、強力なサポートをもたらします。

日本でも受けることのできるダマヌールのヒーリング・プラノセラピーと、このヒーリングをもとにした、美と健康に作用する、ビューティーのプラノセラピーについて体験談とともにご紹介します。



不調和は癒しへの警告 体の悲鳴に耳を傾けましょう

「本当の癒しとは行動し、変化することで訪れる。」私たちの魂は明確な目的と使命を持っています。魂の望む方向に沿った生き方をしていると、肉体と魂の全体が調和し、健康が保てますが、魂の方向から外れた生き方をしていると、さまざまな不調が警告となって信号を発します。

特に現代社会では、汚染による環境破壊が進み、人と自然との繋がりが薄れ、また長時間労働や偏った食事など、ストレスを抱えやすくなっています。

「いつも疲れている」「憂鬱な気分が晴れない」「同じ失敗のパターンを繰り返している」などの傾向があるなら、それは自分の魂からの変化を求めるメッセージかもしれません。

生命のエネルギー プラーナの充填

プラノセラピーで用いられるのは、生命に不可欠で成長の原動力となるエネルギー「プラーナ」。生命の根源的エネルギーと言われる「プラーナ」は肉体とオーラ、魂、メンタルな部分へと同時に作用し、特に必要な部分に集中して、調和を取り戻すことを助けます。

全体のバランスが回復するに従い、シンクロニ

ティーが引き寄せられ、これまでのパターンから脱する出来事が起こるなど、成長へのサポートが働きます。

繊細なエネルギーに 継続して触れることによる変化

人間は新しい体験を通して進化し続ける存在です。宇宙や自然、人との繋がりの中で、自分のユニークさを発揮し周囲に役立たせること、そのために行動し自分を変えていくことは、本来の自分自身の発見と喜びに満ちています。プラノセラピーは、魂の望む方向への変化をプッシュします。

さらにオーラが強化されていきますので、これからの季節、風邪予防や免疫強化にもオススメです。新しい年2014年をさらなる飛躍の年とするために、ぜひ、あなたもプラノセラピーを受けてみませんか？

ダマヌール日本では、ダマヌール市民であり、メディテーションの学校で学ぶ“スピリチュアルヒーラー”によるプラノセラピーを受けることができます。

プラノセラピーの受け方はとてもシンプルです。座って目を閉じて、12分間深呼吸を行う間に、オーラを介してヒーラーからプラーナが中継されます。症状が形成されてきた期間や程度により、変化が現れるまでの時間には個人差があります。

目安として週1回のペースで3か月継続して変化をみることをお勧めしています。そしてダマヌールのヒーラーは、定期的にセルフ学の技術を用いた否定的エネルギーの浄化が義務付けられています。このことにより、いつでもパワフルで安全なヒーリングの提供が可能です。

神秘の可能性ビューティーのプラノセラピー

ビューティーのプラノセラピーと聞いて、何を想像しますか？見た目が美しくなる？自然にスタイルまで良くなったりして？いいですね、あなたが考えた事はすべて起こるかもしれません、多いに期待できますよ。一人ひとりが内面に秘めている、自分本来の美しさや清らかさが、生命のエネルギー『プラーナ』の働きで表面に現れる施術です。

実際、受け終わった人の表情の違いに驚かされます。たとえば連日の激務で少しばかり疲れがお顔に出ていた会社員の女性の場合、頬が紅潮してほんのり桜色になって生気がみなぎっているように見えたり、ご家族

の問題で悩みが尽きなかった主婦の方の瞳に光りが灯り潤んで、なんともやさしい表情になられていたとからです。メイクなどにはまったく興味のないお嬢さんも、回数を重ねる事で、最近エステ通いをしているの？とお友達に訊かれたそうです。また70歳代の女性には、若いときのような腰のくびれができたというウレシイお話も聞きました。これは自己申告でしたが…。

一回のセッションは約15分、美の色である山吹色のシートにくるまって横になっていただきます。目を閉じてただゆったりとした深呼吸をしてくださいます。今まで感じた事のないような深い癒しに包まれているうちに、ゆっくり眠りに落ちる方も。目覚めた時には新しい自分を感じられるかもしれません。

ダマヌール独自のエステティックなセラピーで、皮膚細胞に働きかけ、肌細胞を再生、活性化する作用が望めるものです。あなた独自の純粋な魅力が、瞳の輝きや肌ツヤ、華やいだ表情などに表れます。誰にも共通するのは、何より笑顔に輝きが増すようです。

プラノセラピーとの併用で、相乗効果が期待できます。

お問い合わせ窓口

- ダマヌール日本神戸センター
e-mail: damanhur-kobe@s5.dion.ne.jp
Tel/Fax: (0798) 23-9161
- ダマヌール日本支援ネットワーク イビアル
Tel/Fax: (052) 683-8233
e-mail: jpjal@crux.ocn.ne.jp

友人たちが驚く、私のポジティブさと夢を見る若さ ～体験・感想～

プラノセラピーを継続していて良かった、そう思っています。数年前、何気なくもらったピンクのチラシには、プラノセラピーという聞き慣れない言葉が書かれていました。気功とどのように違うのか、病気の父の助けになるのか、気になって仕方ありませんでした。

思い切って受けてみると、自分の周りに卵型の盾ができたように感じられ、元気いっぱいポジティブです。しかも、何気なくスイッチを入れたテレビには、知りたかった病気の特集が放映されていました。西洋医学一辺倒だった父もプラノセラピーを受け始め、継続していくと共に、病気は進行したものの、辛いながらも父の暖かくユーモアのある性格が現れ続けて、家族には助けになりました。訪問入浴サービスの人達には歌をサービスしたり、ヘルパーさんには慕われて、頑固さは消えてしまいました。

私自身は出来事を大きく受け取り過ぎる傾向があり、自分を責めてネガティブになることがあります。欠点を意識することで出来事をだんだんと平穏に捉えることができるようになりました。

日々生活する中で、体調不良や疲れきって元気がないなど様々ですが、プラノセラピーを受ける日が来るたびに、元気な私があります。そして、たまに同

級生に会うと彼女達は私のポジティブさと夢を見る若さに驚いています。(60代 女性)

ビューティーブラーノをうけた後の、爽やかさにハマっています！

実は、20歳から30歳代は日常で化粧をしていましたが、40代になって、人間本来の美しさは人から滲み出るものではないかという思いもあり、思い切って基礎化粧品以外は使わなくなっていました。

50歳の声を聴くようになって、さすがに日焼けによるシミや皺も無視できなくなってきましたが、何より、それを気にして自信のない自分であるのも情けないように感じていたところ、プラノセラピーと、ビューティーブラーノを受けるチャンスがめぐってきました。

顔や頭に緊張が留まるといったタイプの私には、とても自分に合ったヒーリングだと感じています。潤いのフェイスマスクをかぶったような感覚になって、何より疲れがとれるのです。様々な悩みから解放された気分になります。周りの人にも「表情が明るい」といわれ、リフレッシュのものが実はこのヒーリングであることは、まだ内緒にしています。

(40代 女性)

時へのチェックメイト コミック(次ページ) 前回までのあらすじ

人類の危機を救うため、未来の宇宙評議会から地球に派遣されたファルコは、仲間と共にダマヌールを誕生させ、並々ならぬ熱意と献身、団結の力で人類のための神殿づくりを進めます。さらなる発展が求められる時期、ファルコが連れてきた新メンバーは、新しいアイデアで神殿建設やコミュニティー改革に取り組みますが、それを快く思わない初期のメンバーもいて…



ファルコ



ガウ



フェニーチェ



シレーナ



コンドル

ダマヌールのコミック「時へのチェックメイト」より (10)

新メンバーは新しいアイデアで改革に取り組みます…



次号、フォスコは思いがけない行動にでます…